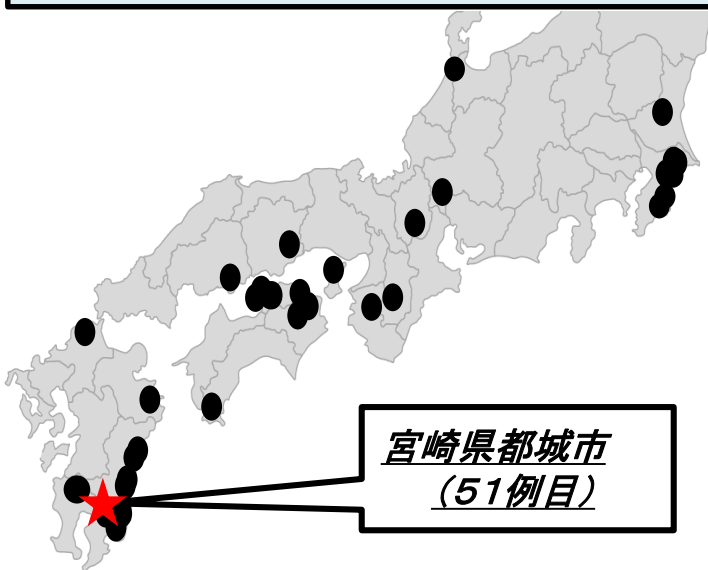


宮崎県の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜確認！（国内51例目）

2月25日、宮崎県都城市の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI H5亜型）の疑似患畜が確認されました。今シーズン国内51例目、宮崎県では12例目の発生となります。

引き続き野鳥・野生動物侵入防止や、石灰散布等による消毒などの発生予防対策の徹底、強化をしてください。

愛玩用の家きん飼育者のみなさまにおかれましても、消毒の励行、野鳥・野生動物侵入対策をお願いします。



【農家概要】

★51例目

- ・農場所在地 宮崎県都城市
- ・飼養状況 肉用鶏 約3.9万羽

【経緯】

- ・2月24日、死亡鶏増加の通報を受け宮崎県が立入検査を実施、簡易検査で陽性を確認。
- ・2月25日、遺伝子検査の結果H5亜型であり、HPAI疑似患畜と確認。

▶今年度は、いたるところに鳥インフルエンザウイルスが存在していると考えられます。ウイルスを農場内、鶏舎内に持ち込まないために、以下の対策をお願いします！

- 防鳥ネットなどによる野鳥やネズミ等の家きん舎への侵入防止
- 農場に入る車両の徹底消毒
- 家きん舎ごとに、専用の長靴や作業服の着用
- 家きん舎に入る人や物品の徹底消毒
- 踏み込み消毒槽は、消毒薬が汚れたら交換（汚れたら効果なし！）
- 殺鼠剤、殺虫剤によるネズミや害虫の駆除

▶毎日、健康観察を行い、異状を発見した時は直ちに当所へ通報を！